

交通安全教室

1年生と3年生が参加して、福井南警察署の交通指導員さんを招いた交通安全教室を行いました。外での実施を計画していましたが、あいにくの空模様となったために体育館で学年別に行いました。

1年生の内容は、道路の歩き方についてです。交通指導員さんが、安全な道路の歩き方や渡り方をパネルで分かりやすく説明してくださいました。道路を渡る際には、必ず「①止まる、②手を挙げて合図、③右・左・前・後・右の順に確認」をするように言われました。次に、体育館に設けたコースを歩いて、教えていただいたことを守りながら安全に歩けるか確かめました。手をまっすぐに挙げて合図を送らなかつたり、「右・左・前・後・右」の安全確認をしなかつたりと十分に身についていないようでした。運転手に見えるように手をまっすぐ上げる、顔を動かすだけでなく遠くを見て車が来ないか確認するといった交通安全の基本を、これからしっかり守ってもらいたいです。



3年生の内容は、自転車の乗り方についてです。交通指導員さんは、乗る前の点検が大切だと教えてくださいました。ブレーキとタイヤ、ハンドル、車体、ベルについて自転車の使い説明されました。自転車の乗り方にもルールがあり、「①両手でブレーキをかける、②自転車の左から乗る、③右ペダルに足をかける、④周囲の安全確認」を行えば、安全であると教えていただきました。



この後、DVDを見て、自転車の安全な乗り方について学びました。交差点などで安全確認を怠ったために車とぶつかり、自分が大けがを負った事例。スピードを出しすぎて歩いている人にぶつかり大けがを負わせてしまい、賠償責任を負ってしまった事例。これらの事故から自転車は便利で楽しい乗り物ですが、ルールを守らなければ危険な乗り物であると児童は感じ取ってくれたようです。

